

令和7年度 英語科及びデジタル科実施状況について

(別紙2)

金沢市立医王山小学校

①児童アンケート

(1)英語科(小学校5年生:令和8年1月実施)

(%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語科の勉強が好きだ。	56.0	44.0	0.0	0.0	0.0
問2	英語科の勉強は大切だ。	78.0	22.0	0.0	0.0	0.0
問3	英語科の授業の内容が分かる。	44.0	44.0	11.0	0.0	0.0
問4	先生や友達に英語で質問することができる。	56.0	44.0	0.0	0.0	0.0
問5	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	56.0	44.0	0.0	0.0	0.0
問6	アルファベットの大文字が書ける。	67.0	11.0	22.0	0.0	0.0
問7	アルファベットの小文字が書ける。	56.0	22.0	22.0	0.0	0.0
問8	教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すことができる。	44.0	44.0	11.0	0.0	0.0
問9	教科書の単語や英文を読むことができる。	22.0	44.0	33.0	0.0	0.0

(2)デジタル科(小学校1～6年生:令和8年3月実施)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えば そう思わない	そう思うわない
問1	自分やみんなのことを考えてICTを使うことができる。	61.9	19.0	14.2	4.7	0.0
問2	生活の中で上手にICTを使うことができる。	57.1	19.0	21.4	0.0	2.3
問3	深く広く学習するためにICTを使うことができる。	40.4	26.1	28.5	2.3	2.3

②指導改善の具体策

【英語科】 ・外国の方との交流が計画的にできなかったので、児童が学んだ英語表現を中学校のALTの先生を相手に活用できる場を設定していく。 ・アルファベットの小文字を書く活動を増やす。 【デジタル科】 ・プログラミングの学習において、ロボット等を思い通りに動かすための活動に時間がかかってしまうことが多い。そのため活動の過程で悩んだことや工夫したことを交流し、筋道を立てて考えたり説明したりする時間を十分に確保する。

③学校関係者評価

・外国の方と会話することが1番子ども達にとってなじみやすく、楽しいと思えるのではないかな。もっと外国の方との交流を増やしてほしいと思います。 ・早期の英語教育において「学べた実感」を持てていない児童が一定の比率いることが気になります。 ・ICTを用いた学びが「向いていない」「必要性を感じない」児童の存在にも目を向けるべき、という結果だと思います。 ・アルファベットを上手に書く事は中学になってからでも十分だと思います。とにかく英語が好きになること、話す楽しさを味わうことが最優先だと思います。携帯端末等の発達により利便性が増し、外国の方と実質的な交流機会が多いほど学習意欲が増すと思います。 ・英語科については、大切だと思っているが、好きだと感じている割合が少なく思う。苦手意識を少なくしていくことが大切だと思う。 ・デジタル科について「そう思わない」子が僅かにいることから、プログラミングの理解が不足しているのではないかな。AIの活用を考えてみたらどうか。プログラミングだけでなく、AI等新しい技術が生まれる時代です。コツコツと興味を持てるように対応するしかないと思います。 ・デジタル科については、どんどん進化していくので、生活の中で取り入れていく必要があると思う。
--